

各部の運営方針と目標

平成21年度

平成 21 年 5 月



三鷹市

R70

古紙配合率 70%の
再生紙を使用

平成21年度「各部の運営方針と目標」の策定にあたって

このたび、平成21年度の「各部の運営方針と目標」を策定しました。

この「各部の運営方針と目標」の策定は、平成15年度に私が市長に就任した直後に始めたもので、市民の皆様に向けて、これまで三鷹市が力を入れてきた「説明責任の確立」と「成果重視の自治体運営」に向けた取り組みを、さらに前進させるために有効な手法であると認識しています。

「各部の運営方針と目標」は、①「部の使命・目標に関する認識」、②職員数、予算規模といった「部の経営資源」、また、③第3次基本計画（第2次改定）や平成21年度の施政方針に基づく「各部の重点事業」等で構成されるものです。三鷹市では、各職場が日常的な業務を通じて受け止めている市民の皆様のニーズを基礎にしつつ、各部が主体的な問題意識によって政策形成する努力を尊重して、毎年10月に、市の理事者と各部の部課長が各部毎に一堂に会する「政策会議」を開催しています。ここでは、当年度事業の進捗状況を確認するとともに、新年度に向けた様々な事業の提案についての協議をします。すなわち、今年度の「各部の運営方針と目標」の策定過程は、実は、昨年秋の「政策会議」の議論から本格的に始めているのです。政策や事業に関する協議は、市長はじめ理事者と関係部課長間で日常的に行われていますが、政策会議の場では、新年度の展開を想定して、各部長等から意欲的な新規事業や拡充事業の提案が行われます。私も市長として、市政運営の理念や個別政策に対する考えを率直に伝えて、文字通り「白熱」した議論の場となります。まさに、三鷹市の良き伝統ともいえる「活発な政策論議を行う職場風土」が継承されており、言わば「職員からのボトムアップ」と「市長によるトップマネジメント」の融合と相乗効果が示されるものと思います。

同時に、政策会議では、政策形成の基礎となる計画や既存の政策との整合性についての検討がなされる機会となります。こうした意見交換や議論の過程を通して、私たちには政策会議の前には想定していなかった課題解決の新しい方向性が喚起されたり、ある場合には提案が取り下げられたり、またある場合には既存事業と代替する「スクラップ・フォア・ビルド」がなされたりするという、実現性の高い結論が導き出される、まさに「選択と集中」の場が展開されています。

さて、私たちは現在、経済危機や新型インフルエンザの流行などについても、情報通信技術の発達により、世界各地での様々な状況が一瞬にして伝えられる時代を生きています。しかも、国際的な経済状況は深刻さを増してき

ており、市民の皆様にも雇用不安や医療・保健・社会福祉等の制度への不安感も募るばかりです。こうした中、私は、平成21年度の施政方針には、「今ある危機を乗り越え、輝くまち三鷹の未来を切り拓くために」を掲げて「市民の皆様^{ひら}の生活から不安を取り除き、未来に向け、希望を持って暮らしていけるよう、持続的で安定した地域社会の道筋をつける年」と位置づけました。

そして施政方針において、「安心」をもたらすために不安定な経済状況から市民の皆様^{ひら}の生活を守るとともに防災対策の推進や公共施設の整備など都市基盤の整備を進め、「活力」を高めるために民学産公協働の取り組みによって、地域の産業と経済の活性化を図り、「未来」を切り拓くために、小・中一貫教育校の全市展開などによりこれからの社会やまちづくりを担う人材を大切に育てる、という3つの視点を軸に位置づけました。そして、徹底した「選択と集中」による取り組みの重点化を図っています。

こうして、平成21年度「各部の運営方針と目標」では、各部それぞれの運営方針の冒頭には部長たちが固有名詞で名を連ねています。そして、市政の基本理念と市長の方針を尊重するとともに、部の管理職として、さらに「庁内分権」の担い手として、部の使命と方針を自覚して各部のマネジメントにあたる姿勢とそのための具体的施策の内容を公表しています。

取り組みの推進に際しては、各部が強力に連携した課題別のプロジェクトチームや都市再生推進本部等の実質的な活躍をはじめ、経営本部・経営会議を中心とした全庁的な体制が必要です。そこで、「各部の運営方針と目標」は、部長の権限と責任のもとに自立的な部内運営を行うことで着実に日々の経常業務に取り組むと同時に、種々の課題に機動力・応用力を発揮して対応できるシステムとして有効に活用していく必要があります。

私は、三鷹市の強みである「職員力」と「組織力」の最大化・最適化を図るとともに、市民の皆様^{ひら}の立場に立った市政運営をさらに進めるために、絶えざる改善を加えながら「各部の運営方針と目標」の実行に取り組みます。

平成21年5月

三鷹市長 清原慶子